H19 第三回基礎学力テスト

- 1
- $(1) 7 \times (-4) = -28$
- (2) (3 x-5) (x-6) = 3 x-5-x+6=2 x+1
- (3) 一次方程式 $\frac{1}{3}x + 4 = x + \frac{1}{2}$

$$2 x + 2 4 = 6 x + 3$$

- $4 x = -2 1$ $x = \frac{2 1}{4}$

(4)
$$\frac{4}{\sqrt{2}} + \sqrt{32} = \frac{4\sqrt{2}}{2} + 4\sqrt{2} = 2\sqrt{2} + 4\sqrt{2} = 6\sqrt{2}$$

- (5) 70-50=20 $\angle x = 180-20=160^{\circ}$
- (6) yはxに反比例し $y = \frac{a}{x}$ とおくと x = 2, y = 6を代入して

$$x = -3 \mathcal{O}$$
 ≥ 3 , $y = \frac{12}{-3} = -4$

(7) $\sqrt{45 \times a}$ が自然数となるとき $\sqrt{3 \times 3 \times 5 \times a}$

$$a = 5$$

- (8) そのコインを出すか出さないで $2 \times 2 \times 2 = 8$ 通りあるが 全く出さない 1 通りは除くと 7 通り
- (9)

$$2 \pi \times 16 \times \frac{45}{360} = 2 \pi \times 16 \times \frac{1}{8} = 4 \pi$$

$$32 + 4\pi$$

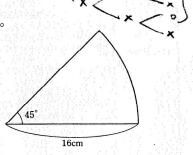
(8) 100円, 50円, 10円硬貨が1枚ずつあります。この3枚の硬貨を使って、おつりのないように買い物をするとき、支払う方法は何通りあるか、求めなさい。







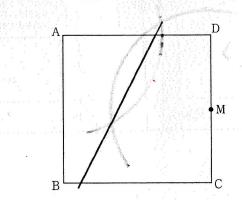
(9) 右の図において、おうぎ形の周の長さを求めなさい。



刀通り

3

(10) 下の図のような正方形ABCDがあります。辺CDの中点をMとし、点Aが中点Mに重なるように折るときの折り目を作図しなさい。なお、作図に使った線は消さずに残しておくこと。 定規やコンパスを持っていない場合は、作図の方法を文章で書きなさい。



2.

- 20回投げて1点が5回、4点が5回 1買いはどこにも入らず
- (1) 2点のところに x 回, 3点のところに y 回入ったとすると

$$2 x + 3 y + 5 + 2 0 = 4 5$$

 $x + y = 9$

$$(2)$$
 $2 x + 2 y = 1 8$

$$2 x + 3 y = 2 0$$

$$-y = -2$$
 $y = 2$

$$x = 7$$
 7 \Box

3.

(1) 関数
$$y = \frac{1}{2} x^2$$

A $(-2, \frac{1}{2} \times (-2)^2) = (-2, 2)$
B $(4, \frac{1}{2} \times 4^2) = (4, 8)$

(2) 直線ABの式は 傾きが $\frac{6}{6}$ =1なので

$$y = x + b$$
 とおくと (4,8)を代入して

$$8 = 4 + b$$
 $b = 4$ よって $y = x + 4$

(3) △AOBの面積を二等分するにはABの中点を通るので

$$(\frac{-2+4}{2}, \frac{2+8}{2}) = (1, 5)$$
 と原点を通る直線は $y=5$ x

4

(1) 1番目1

$$2$$
番目 $1+2=3$

$$3$$
番目 $1+2+3=6$

$$4$$
番目 $1+2+3+4=10$

(2) 表面積は n番目は 右から見ると $1 \times n = n$ 左から見ても n

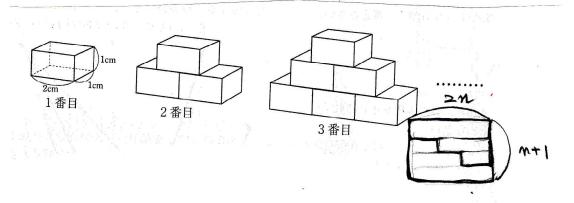
真上からみると $2n \times 1 = 2n$ 下から見ても 2n 正面から見た図は積み木を左端に詰めておき 同じものすなわち裏から見た図を逆さにして重ねると

横に2n 縦にn+1 なので

$$2 n (n+1)$$

$$2 n^2 + 2 n$$

結局全部併せて $2 n^2 + 2 n + 4 n + 2 n = 2 n^2 + 8 n$



(3)
$$2 n^2 + 8 n = 2 8 0$$

$$n^2 + 4 n - 1 4 0 = 0$$

$$(n+14) (n-10) = 0$$

5.

(1) \triangle ACDについて

円周角は等しいので Z C A D = Z C B D

 $\sharp \hbar, \angle CBD + \angle BDC = 90^{\circ}$

 $\angle ACD + \angle BDC = 90^{\circ}$

 $1 < C < B < D = \angle A < C < D$

これで底角が等しいので△ACDは二等辺三角形である。

さらに、このことより $\angle ACB = 90 - \angle ACD$

 $\angle BAC = 90 - \angle CAD$ であるから

(なお、BDが直径なので \angle BAD=90°)

 $\angle ACB = \angle BAC$

よって \triangle BACはBA=BCなる二等辺三角形である。

AD=CDよりBDは∠FBCの二等分線であり

FD: CD=2:1よりBF:BC=2:1

ところがBC=BAより BC:BA:AF=1:1:1

よってAB = AFより $\triangle DAB \equiv \triangle DAF$

よってAB=10 c mからBF=10 c m, CB=5 c m

 \triangle FAB \triangle FCBより AF=xcmとおくと

FB:FA=FB:FC

10: x = 2x: 15

 $2 \times 2 = 1 \times 5 \times 0$

 $x^2 = 75$

 $x = 5\sqrt{3}$

 $FB = 10\sqrt{3}$

